

平成23年雲南市議会3月定例会一般質問通告一覧表

平成23年3月1日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
1	11	藤原信宏 (一問一答)	1.不動産未登記箇所の計画的処理について 2.合併の検証と一体感醸成のための施策展開について	<p>(1)市直営の嘱託登記事務体制を整備してからの3年間に古い買収地の未登記箇所について、どう把握し、どの程度処理したか。</p> <p>(2)所有権移転登記が為されなければ固定資産税の課税対象である。市の未執行・責任をどう認識し対応しているか。</p> <p>(3)未処理箇所の登記に計画的に取り組む姿勢を伺う。</p> <p>(4)登記事務執行に向けた庁内挙げた体制作りを求める。</p> <p>(1)合併特例期間も残り4年、市長の手腕が問われる大きな施策の転換期である。新市の融和と一体感醸成のための施策展開について、現在までの検証をどう行い認識しているか。</p> <p>(2)新たなまちづくりの市民意識高揚のために毎年11月1日にまちづくり研修やスポレク大会等の記念行事を開催してはどうか。</p> <p>(3)合併後の投資のアンバランス等による旧町村間の軋轢さえ感じる。何故合併したのか、今一度市民の理解を得るための大いなる説明努力が必要と考えるが、市長の所見を伺う。</p> <p>(4)合併後の各町別の普通建設事業の推移を公表して正確な情報を提供した上で、今後の方針を示してはどうか。</p> <p>(5)6町の均衡ある発展を目指すべく合併の目玉事業、オンリーワンプロジェクトの推進について、どのように検証し、頓挫している事業について、今後どう推進或いは修正するのか。</p> <p>(6)この度示された新庁舎の建設は大いに歓迎するが、建設の必要性を丁寧に粘り強く説明し、市民の理解を得ることが重要だ。説明責任の履行について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>(7)郷土の貴重な資源を市民共通の宝・誇りとして意識を共有するために、学校・社会教育や生涯学習において、大いに地域間交流し、学習を推進すべきと考えるが教育長の所見を伺う。</p> <p>(8)古事記編纂 1300 年の好機を活かして、神話等の魅力を伝える如何なる施策展開を図り、新市の一体感醸成に寄与する考えか伺う。</p> <p>(9)各イベントの来場者を増やし盛り上げるために、同日開催の各地イベントを日程調整する、或いはイベント間の連携を図って、有効な開催が出来ないか。</p> <p>(10)全市が一体となった「市民祭り」等のイベント開催の企画はどうか。</p> <p>(11)将来の計画的な施設の統廃合調整を図るためにも各施設を各スポーツごとに専用体育館等としての位置付けを持たせ、スポーツを通じた市民の交流、一体感の醸成を図る考えはないか。</p> <p>(12)市内 6 町の地域別・職場・グループ別対抗の市内一周駅伝や市民マラソン、または市内持ち回りで全市挙げてのロードレース大会を開催してはどうか。</p> <p>(13)市の木（イチョウ）や桜、名所史跡を歌詞に織り込んだ市民歌、市民愛唱歌を制定してはどうか。</p>	
2	7	安井 誉 (一括)	1.雇用促進について	<p>(1)雲南市が一番求めるべき施策のポイントは働く場の確保であると思うがいかがか。</p> <p>(2)現況の取り組み状況及び民間雇用促進の推進策について伺う。</p> <p>(3)情報収集や雲南市 PR のため職員の東京派遣などされているがその成果はどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.子育て支援について	<p>(4)県との関係を密にし、連携が必要と思うが、産業振興課・立地企業課等との連携はどの程度か、県への職員派遣は考えられないか。</p> <p>(1)雇用促進に並んでのポイントは将来を担う子どもに対する視点を大事にする施策である。不安定ながら国・県も力点を置いていると思われるが市独自として子育てに力を入れる必要性はないでせうか。その施策として市の助成を独自に上乘せする考えはないか。</p> <p>(2)安心して子育てが出来る社会の構築こそ人口増につながるものと思うがいかがか。</p> <p>(3)現状、子育て支援に係る主とした事業は何か。</p>	
3	16	堀江治之 (一問一答)	<p>1.人口減対策について</p> <p>2.林業振興について</p>	<p>・昨年実施された国勢調査結果の速報値が発表になったが、人口減傾向は止まっておらず、雲南市としての人口減対策について伺う。</p> <p>(1)人口減の現状について伺う。</p> <p>(2)少子化・転入・転出対策方針について伺う。</p> <p>(3)定住（移住）対策方針について伺う。</p> <p>(4)高速道路の供用開始に伴う定住対策方針について伺う。</p> <p>・林業の振興と森林を整備し、木質バイオマスエネルギーを活用した新産業の創出に取り組むことが提案されているが、林業振興の取り組み方針について伺う。</p> <p>(1)市内の森林（人工造林）の現状について伺う。</p> <p>(2)人工林の保育の現状と今後の方針について伺う。</p> <p>(3)市有林の現状と伐期到来林の現状について伺う。</p> <p>(4)伐期到来木の処理方針について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.公共施設の維持修繕計画について	<p>(5)雲南市産木材利用促進事業（過疎地域自立促進計画）の取り組み方針について伺う。</p> <p>・各自治体では、公共施設の長寿命化計画（修繕計画）が策定され、実行することにより歳出の抑制に効果が出されているが、雲南市の対応策について伺う。</p> <p>(1)道路台帳の整備状況と維持修繕（舗装）計画について伺う。</p> <p>(2)橋梁台帳・長寿命化計画の策定状況と維持修繕計画について伺う。</p> <p>(3)建築物の維持修繕計画について伺う。</p>	
4	2	周藤正志 (一問一答)	<p>1.新庁舎建設について</p> <p>2.総合センターのあり方について</p> <p>3.平準化とこれからのまちづくりについて</p>	<p>(1)市民への情報提供の仕方・内容及び意見の吸い上げはどうするのか。</p> <p>(2)移転に係る代替地確保、R54 拡幅、里方交差点改良、雇用促進住宅 等との整備時期など調整が無駄なく図れるか。</p> <p>(3)電算室の移転は二重投資にならないか。</p> <p>(4)八日市・新市から庁舎がなくなると大きく町の姿が変わる。どのように理解を求め、手立てを講じていくのか。</p> <p>(1)「現地解決型からの転換」は、きめ細かな行政サービスと相容れないではないか。</p> <p>(2)限られた人員の中で、相談業務など行政サービスの質をどのように確保していくのか。</p> <p>(水道料金を例に)</p> <p>(1)給水原価に大きな差、公平性を欠いているのではないか。</p> <p>(2)県下でも高い料金、新たな整備で料金値上げを懸念するがどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.海潮温泉温浴施設について	(3)平準化から、地域の特性やバランスをもっと考慮したまちづくりにすべきではないか。 (1)設計の見直し、事業費の大幅増などあまりにもずさんではないか。	
5	5	西村雄一郎 (一問一答)	1.選挙事務の効率化について	・近く、県議会議員選挙が執行される。については次について質す。 (1)前回の県議選との違いは。 (投票所、ポスター掲示板数等) (2)経費についてはどのくらい変わる予定か (ポスター掲示板設置費、撤去費、人件費、運搬費等及びそれらの総額) (3)交通不便者(弱者)への対策は。 (4)バスを運行するとして、そのダイヤは。 (5)また、バス運行に掛かる費用はいくらか。 (6)開票事務の効率化を図るのが先決であると考えているが、前回の開票時間と今回の目標を。 (7)配置人員、経費の予定はどのようになっているか。 (8)関連して、雲南市議会議員選挙におけるポスター作成費などの公費負担分を候補者が負担していることについての所見は。	
6	10	細田 実 (一問一答)	1.勤労者の生活向上と官制ワーキングプアについて	・勤労者の生活は一向に向上しない。非常事態宣言だ。中でも官制ワーキングプアが問題となっている。自治体が貧困層をつくり出す原因を作ってはいけない。改善策を問う。 (1)自治体の「非正規公務員」の増大は大きな問題だ。雲南市でも例外でない。賃金、一時金、福利厚生など格差は深刻だ。同一価値労働、同一賃金の原則のもと改善すべきだ。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.財政非常事態宣言について	<p>(2)①自治体のアウトソーシング（民営化・委託化）はコストの削減が目的となっているが、自治体の仕事はコスト＝人件費といっても過言でない。コスト減目的のアウトソーシングは進めるべきでない。</p> <p>②例えば指定管理者も低コスト目的に導入される傾向にある。総務省は昨年12月「指定管理者の制度の運用について」の通達（助言）を出し制度の適切な運用を求めた。労働法令の順守、労働条件への適切な配慮も求めている。雲南市の対応はどうか。</p> <p>③指定管理者制度導入施設のモニタリング・評価制度を設けた自治体もある。雲南市も指定管理制度施設、業務委託施設のモニタリング、評価をする考えはないか。もちろん労働条件も対象とすべきだ。</p> <p>④一般競争入札は談合問題の改善を目的に進んだが、低入札価格→品質、労働者へのしわ寄せ→賃金低下を招いている。公契約条例を制定し、品質確保、労働者へのしわ寄せを止める施策を展開すべきではないか。</p> <p>(1)先の全協で非常事態宣言を来年度解除したい旨の表明がされた。非常事態宣言下、住民に補助金削減、職員へは賃金の削減などを強いてきた。その間施策に無駄は無かったのか、点検すべきだ。非常事態宣言を解除しても住民生活は非常事態だ。宣言解除後のサービス向上はどのような方針で行われるのか。</p>	
7	6	土江 良治 (一問一答)	1.新庁舎の規模及び前提条件（人口・議員数・職員数）の設定について	<p>(1)人口予想推計は平成27年で40,000人（40,059人）、職員数は定員管理計画達成時の平成32年の474人、議員数は現在の定数条例24人を前提としている。</p> <p>何故、それぞれ前提とする年度が異なるのか。平成27年は4年先、平成32年は9年先、474人の職員で入れ物の大きさが決まるのであれば3条件は32年に合わせるべきと考える。</p> <p>そうとするならば人口は37,600人（37,611人）、議員定数は20人が想定される。仮に窮屈であっても9年先はすぐそこである。不自由</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>2.地域防災について</p> <p>3.買物難民について</p> <p>4.エネルギーの地産地消について</p>	<p>は常と思えの教えがあるのではないか。</p> <p>(2)職員数 474 人も適正かどうか再検討する必要がある。 人口 10 万人弱の福岡県大野城市の市職員数が 3 百数十人と云う。個々に学ぶべきことはあるだろう。如何なものだろうか。 因みに、もう 29 年先の人口推計は 32,864 人</p> <p>(1)組織見直し後の災害時は総合センターに現地対策本部を設置し、基本的に全職員で対応するとあるが、全市内が激甚が想定されてのことも含むのか。一朝有事は初動体制にある。 いま、災害時の備えに、例えば雲南測量設計協会と応援協定も結ばれている。この他に元役場、市役所職員 OB との応援協定も必要と考えるがどうか</p> <p>(2)緊急時の生活必需品、とりわけ食料の備蓄は各総合センターでどこに備蓄されているのか全職員は知っているのか。 また、備蓄品の賞味期限は適宜チェックされているのか。</p> <p>(3)今年のような豪雪で何を学び、「雲南市地域防災計画」の見直しを迫られることがあったのか無かったのか。</p> <p>(1)旧 JA 支所付随の委託店が次々と閉店の憂き目にあっている。高齢者が日々の買い物に困る「買物難民」。市はこの実情をどのように捉えられているのか。経済産業省はこの 1 月から買物支援の取り組みを後押しする補助事業をスタートさせた。市としてこのことにどう対処しようとしているのか伺う。</p> <p>(1)世は温室効果ガスの排出削減を問われている。中山間地域に豊富に流れる水流を活かした小規模水力など、再生可能なエネルギーとして個人や集落単位、防犯灯の電力に小規模発電技術が注目されている。(水力は太陽光と違って夜でも発電できる) 地域振興補助金制度に「地域重点事業」を設けるとあるが、市主導の事業としてモデル的に集落エネルギー自給の暮らしを試みようとする気</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			5. 獣害対策について	<p>はあるか。</p> <p>もし、実現すると、若者を呼び込み、その発電施設を取り巻いて地域が活性化し、定住の促進にもつながると思うが。(岐阜県の例 らせん水車水力発電1基70万円余り)</p> <p>(1)市は熊の檻の配置を決めた。猟友会員も高齢化のため銃免許保持者も減少しつつある。猪も含めてではあるが、捕獲してからすぐ対応できなくなりつつある。各総合センター職員に麻酔銃免許保持者を誕生させることは出来ないか。</p>	
8	13	堀江 眞 (一問一答)	<p>1. 昭和38年豪雪に次ぐ今年の豪雪について</p> <p>2. 移動通信用鉄塔施設整備について</p>	<p>(1)豪雪の状況を視察された感想、所感を伺う。</p> <p>(2)補助制度について、過疎に一層拍車がかかるのではと心配するが、思い切った助成が必要ではないか。併せて、種々準ずる要件に幅が必要ではないか伺う。</p> <p>(3)除雪計画の見直しが必要ではないか。特に、末端について配慮が必要ではないか。</p> <p>(4)オペレーターの確保、並びに総合センター職員に過重な負担が掛かっているのでは。本所からの応援体制など所見を伺う。</p> <p>(5)雪おろし、避難路確保など建設業者の皆さんに対する要請と工期の配慮など必要だと思うが所見を伺う。</p> <p>(1)中期財政計画で平成23年度以降の計画が示されていない。見解を伺う。</p> <p>(2)通信事業者が受けた理由と受けられない理由を併せて伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
9	14	村尾 晴子 (一問一答)	1.地域で支えあう暮らしづくりについて 2.生活道路の整備について	(1)大雪による高齢者等に対する対応は。 (2)配食サービス等についての市の考えは。 (3)急がれる買物難民対策は。 (4)健康維持のため、各種検診受診率の向上は。 (1) 県道出雲奥出雲線の道路改良について、温泉小学校から市町境間の改良が必要だ。長年要望されているが進展が見られない。市の対応は。	
10	17	光谷由紀子 (一問一答)	1.幼稚園、学校の統合について 2.各種の検討委員会設置について 3.新庁舎建設について	(1)地域住民、保護者への説明、協議は十分な配慮がされなければならないが、どう対応されているのか。 (2)子どもの発達に適応した集団も必要である。一方で統廃合は地域の衰退に拍車がかかるし、子どもと地域のつながりも薄くなる。大変、微妙な問題が多い。時間をかけて協議すべきではないか。 (1)検討委員会の設置目的は。 (2)例えば今回、本庁舎建設、医療と保健の融合による健康づくりの拠点整備においても検討委員会を設置すると言われている。何を検討してもらうのか。 (3)検討委員会が大型プロジェクト事業の推進のためのものとなっているのではないか。 (4)検討委員会設置の見直しも必要ではないか。 (1)市民からは27億1,700万円もかけて、本当に必要なのかと疑問の声が出ている。どう考えるか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.生活ガイドブックの作成を	<p>(2)非常事態宣言のもと、住民負担の増加、業務委託が行われてきている。一方で多額の建設費用をかけることは問題ではないか。</p> <p>(1)安全安心のまちづくりと言われているが、どんな制度があるのか。困った時にはどこに連絡、相談したらよいのかなどわからないとの声がある。作成の考えは。</p>	
11	8	福島光浩 (一問一答)	<p>1.協働のまちづくりと人財育成について</p> <p>2.観光施策の展開について</p>	<p>(1)地域づくり人材配置事業として「地域おこし協力隊」2名が配置される。この事業の内容と求める効果を問う。</p> <p>(2)協力隊には優秀な人財が多いが、そのスキルや思いは十人十色である。協力隊のみならず外部人財による地域おこしの実態を見てみると、上手くいっている事例は少ない。問題点をどの様にとらえているのか。</p> <p>(3)特定の地区に固執した活動では、人財を生かしきれない。また単独での活動は事業導入の効果が出にくい実態がある。広域での活動、またチームでの活動を担保すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4)活動費にあたるものがなく、やってみたい事に取り組めない事例が多くある。自由に使える予算枠を確保される事を求めるがどうか。</p> <p>(5)次代を担う人財として若者支援施策の実施を求めてきたが、今年度の取り組み実績は。また来年度の施策を問う。</p> <p>(6)広く浅くの人財育成も必要だが、ターゲットを絞り目的を明確にした集中投資も必要である。特に、新しい産業おこし、生き方の発信ができるような人財育成に取り組むべき時機であり、自主財源を割いて責任を明確にした人への投資をすべきと考えるが方針を問う。</p> <p>(1)古事記編纂 1300年をむかえるにあたり、県の予算編成も観光分野にかなり力点を置いている。神話のふるさととして、これまで精力的に観光振興の素地づくりに取り組んでこられたが、来年度の具体的な取り組みについて問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)雲南の観光施策の一番の弱点は、外貨獲得に結び付いていない事である。必ず増える観光客から外貨を得られなければ単なる観光地であり、観光を通じた地域振興に発展させるには今の体制では困難と考える。観光庁の進める観光地域づくりプラットフォーム支援事業などを利用し、体制構築をはかるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)観光を意識した雲南のポータルサイト、また販売チャンネルとしてのサイト構築が急務であると考えがどうか。</p> <p>(4)県の観光アクションプランでは圏域毎の計画が示されているように、圏域としての連携が必要である。出雲圏としての連携はもちろんだが、雲南圏域としての連携が重要になってくる。市としてのスタンス、また具体的な展開を問う。</p> <p>(5)国外、特にアジア圏からの観光客は拡大傾向にあり、市場としてかなり魅力的である。具体的な対策があるのか。</p> <p>(6)ふるさと雇用再生事業を利用し地域資源・観光交流促進事業を展開されてきたが、その成果は。また来年度が最終年度となるがその後の支援策を考えているのか。</p> <p>(7)観光を業として成り立たせるとき、大きな役割を果たすのが宿泊施設である。官民連携が重要な観光振興においてこれまで大きな役割を担ってきた清嵐荘事業だが、施設の老朽化が著しい。市として事業の位置づけ、施設に関する考えを問う。</p> <p>(8)大きな売りである食の幸関連プロジェクトはコンセプト、そして肝心の商品も素晴らしい。しかし、取り組みとして一体感に欠けており、ブランド化に結びついていないと思うが来年度の方策について問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.新庁舎建設と組織機構の見直しについて	<p>(1)庁舎建設、総合センターの廃止・縮小は、雲南の統治機構の大転換である。しかし、行政としてのビジョンが全く示されてなく、覚悟をもった本格的な検討・議論がされてこなかったと言わざるを得ない。政策決定のプロセスに協働のまちづくりの思想のかけらも感じない。説明責任を果たすべき。</p> <p>(2)総合センターの廃止・縮小に伴い、住民自治組織の機能として新たな取り組みが必要になるのか。</p> <p>(3)行政サービスの充実を図るには、サービスのあり方、提供の方法を根本的に変える必要がある。少子化高齢化がますます進み、また広大な面積を抱える中山間地の雲南では、現地駆けつけ型のサービス提供こそ必要とされると考えるがどうか。</p> <p>(4)行政サービスの充実にとって最も重要なのはその「質」であり、「人」そのものである。待遇日本一を掲げられているが寄せられる市民の声からどのように評価しておられるのか。また、再編に伴い現場へ出る機会、市民との接触が減るなかで、どう職員育成を図っていくのか。</p>	
12	1	佐藤隆司 (一問一答)	<p>1.新庁舎建設基本計画に伴う防災拠点について</p> <p>2.定住対策について</p>	<p>(1)9月定例会の一般質問で里方樋門付近の河川改修やポンプ設置の必要性について確認した、新庁舎建設基本計画が示されたが、今後一層島根県と共に対策が必要と考えるがその後の取り組みの状況について伺う。</p> <p>(2)新たな防災拠点周辺の特に出雲市とつながる県道木次直江停車場線の拡幅改良について伺う。</p> <p>(1)住宅マスタープランに基づき、空山団地に平成22年12月に31区画の分譲が開始された、今日の状況と今後の土地利用計画について伺う。</p> <p>(2)島根三洋電機株式会社がパナソニックの子会社となることで、市に対する影響と今後の対応について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>3.中期財政計画並びに実施計画について</p> <p>4.第2次教育基本計画は22年度から新たにスタートしたが・・・</p>	<p>(1)医療と保健の融合による健康づくり拠点整備事業が組み込まれたが、健康づくりを推進するためには全市的に総合的な観点からの判断が必要であるとする、その優先度について伺う。</p> <p>(2)中学生の部活動の選択性や自由度がなくなっていることから、その現状と今後の在り方について伺う。</p> <p>(3)総合型地域スポーツクラブによる受け皿づくりが全市的に展開される必要があるのではないか。</p> <p>(4)スポーツ振興と健康増進には拠点が必要とする、木次町・吉田町・掛合町への取り組みについて伺う。</p> <p>(1)社会教育コーディネーターが1年間でなぜ中学校配置から小学校へ配置替えになるのか（人はそんなに簡単に配置転換できるのか）伺う。</p> <p>(2)図書館の業務委託についても第2次教育基本計画には「委託」の活字の表示さえない、図書館に長年携わって来られた職員に理解は得られているのか伺う。</p>	